

2012年3月20日 第6回「四国積水自然塾」を開催しました。

3月20日(火) 石鎚ふれあいの里で第6回自然塾を開催しました。今回のテーマは「自然と生活との繋がり」。当日は、社員とその家族、総勢58名という過去最大の参加者が集い、自然科学の体験学習を楽しみました。

まず初めは、大きな魚が小さな魚を食べることを題材にした「食物連鎖」について学習しました。ちくわ作りを応用したこのプログラムに子供達は興味津々で、「近づきすぎじゃない？」と声をかけるくらい観察に熱中し、この体験学習を楽しんでくれている様子でした。

次は昼食を挟んでふれあいの里周辺にある木(ミツマタ)をつかつてのはがき作り体験です。ミキサーにかけた木の材料を葉書サイズの型に流し込み、水分を切って乾かせば出来上がり。方法は単純ですが、自分達でつくった葉書はどれも特別感でいっぱい。木の性質を学び、活用するという自然科学の観点と、いつもと違うモノづくりの楽しさが感じられたプログラムとなりました。

そして最後に全員で記念撮影をして、今回の自然塾を終了しました。参加した子供たちからは「初めてのちくわ作りで、魚の中に魚がいたのでビックリした」、「木からはがきができるのが不思議だった。きれいにできてうれしかった」などの感想を聞き、今回のテーマである「自然と生活との繋がり」への理解を深めることができた自然塾となりました。ぜひ次回も「楽しみながら自然に触れ、環境への関心を高める自然塾」を継続していきたいと思えます。



石平代表取締役より開催のご挨拶を頂きました



学芸員の山本先生から魚の生態について学びます



大人といっしょに魚の三枚おろしに挑戦!



みじん切りにした魚のすり身を竹にくっつけて...



炭火でやいてちくわの完成!



昼からははがき作りのプログラム



ミキサーにかけた木の材料を葉書サイズの型に流し込みます



布ではさんで水分を取って静かにはがきをはがして...



最後はアイロンで乾かしてはがきの出来上がり!

